

NEWS

大崎保健所では、がん患者様の支援に携わっているコ・メディカルと福祉職の実務者連絡会議を開催しています。今回は、がん診療拠点病院である大崎市民病院でがんサロンを見学し、病院での取り組みをお伺いしました。



大崎市民病院の“がんサロン”ご存知ですか??

～大崎市民病院にかかっていなくても、どなたでもご利用いただけます!～

大崎市民病院2階にある、がんサロンには専門の相談員さんがいて、温かく迎えてくれます。

サロンには、がんに関する各種パンフレットやタオル帽子、ウィッグも展示してあります。大崎市民病院に通院していない方でも、また患者さんだけでなく家族や支援者も利用することができます。

パステルアートやピアカウンセリング（がん経験者とのお話・相談）、ウィッグ・メイク・ハンドケア相談会等、イベントも多数あります。詳しくは、大崎市民病院ホームページをご覧ください (<https://www.h-osaki.jp/gairai/index.php>)。



宮城県がん征圧イメージキャラクター



“わたしのカルテ”を地域でも御活用ください!!

大崎市民病院（地域がん診療連携拠点病院）では、

抗がん剤治療や麻薬処方を受ける患者様に『わたしのカルテ』をお渡ししています。



「わたしのカルテ 毎日の記録欄」

○ “わたしのカルテ”は、患者様が体調や麻薬の管理状況等を記入し、より患者様自身の体調や生活状況に合った治療をすすめていけるようになるものです。

○ “わたしのカルテ”をお持ちの患者様とお会いした時には、患者様に病状や生活状況等の記入を促してください。また、支援者のみなさんも、気づいたことがあれば記入させてもらい、療養支援チーム全員で情報共有を図りましょう。

○ 『日々の生活の中で行っている工夫』や『小さな良かったこと』も、ぜひ記入してください。治療をすすめていく中で、同じ状況が出てきた時の参考になります。